

中学部 教育課程

区分		学年	単一学級			重複学級		
			1	2	3	1	2	3
各教科	必修教科	国語	140 (35)	140 (35)	140 (35)	70 (70)	70 (70)	70 (70)
		社会	35 (18)	35 (18)	35 (18)	0 (52)	0 (52)	0 (52)
		数学	123 (35)	123 (35)	123 (35)	35 (70)	35 (70)	35 (70)
		理科	35	35	35	0 (18)	0 (18)	0 (18)
		音楽	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)
		美術	70	70	70	70	70	70
		保健体育	122	122	122	87	87	87
		職業・家庭	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)	70 (35)
		外国語	35	35	35	0	0	0
	選択教科							
道徳		0 (35)	0 (35)	0 (35)	0 (35)	0 (35)	0 (35)	
特別活動	学級活動	35	35	35	35	35	35	
自立活動		35 (52)	35 (52)	35 (52)	158 (105)	158 (105)	158 (105)	
合わせた指導	遊びの指導	0	0	0	0	0	0	
	日常生活の指導	175	175	175	175	175	175	
	生活単元学習	0	0	0	105	105	105	
	作業学習	70	70	70	70	70	70	
	自然社会	0	0	0	70	70	70	
総合的な学習の時間		35	35	35	35	35	35	
年間総授業時数計		1050	1050	1050	1050	1050	1050	
週当たり授業時数		30	30	30	30	30	30	
始業時刻 8時40分			終業時刻 14時55分					

教育課程編成上の留意点

- ・心身の発達や障害の実態等に応じた学習ができるよう、課題別にグループを編成し充実させる。
- ・自主性や社会性を育て、基本的な生活習慣、基礎学力、体力の育成を重視するよう編成した。
- ・キャリア教育の視点から、小学部の図工、生活単元学習等で培ってきたものづくりへの姿勢や体験を受けて、中学部の作業学習や職業・家庭を実施する。生活や働くことに対して興味・関心を持ち、その基礎となる知識、技能、態度を養えるようグループ化し、学習内容を工夫して高等部へつなげる。
- ・小中合同の音楽の時間を設けたり、中高合同の作業学習や進路学習等の時間を設けることで、小中高の連携を図る。
- ・生徒が個々の自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための自立活動の時間を昨年と同様に確保し、内容を充実させる。

※表中（ ）内は「合わせた指導」に内包する時間数